



陽光の園 だより



社会福祉法人 緑葉会

生活介護事業所 陽光の園

令和2年9月28日発行

第34号

大島 様からブドウをいただきました

山梨市でブドウを栽培している大島八郎 様からブドウをいただきました。冷やしてからいろいろな品種のブドウを利用者の皆さんと食べました。利用者の方は「甘くて美味しかった」、「いろんなブドウが入っていて綺麗だった」などの感想がありました。ありがとうございました。



伊豆山農園のその後

9月12日に「伊豆山で黒っぽい熊のような動物を見た」と警察に通報がありました。その通報以降、熊の目撃はありません。そんな伊豆山の農園では、以前からイノシシの足跡を確認していましたが、8月頃から農園のサツマイモやサトイモにイノシシの被害が発生し始め、残念ながら収穫に至ることができませんでした。

全国では、新型コロナウイルスにより人の活動範囲の減少で、野生動物の行動範囲が広まったとの報告もされています。イノシシも懸命に生きていますと感じました。イノシシの対策を実施しました。

秋分の日前にダイコンの種まきとブロッコリーとキャベツ、サニーレタスの苗を植えました。

これからの生育が楽しみです。

職員研修をしました

虐待防止・身体拘束についての研修を行いました。利用者の方を支援する中で、支援者が何気にしていることが利用者の方の権利を阻害している場合があることを再確認しました。虐待の芽を小さい内に取り除くには、支援者の心得である人間性と人間力が柱となる。特に人間性を日頃から多角的に考える訓練や感性を育むことが日々、大切であることを確認しました。



被害前のサツマイモ



被害後のサツマイモ



～ 令和2年10月の「陽光の園」予定 ～

10月1日(木) 健康診断・身体測定